

ランサムウェア被害発生のお知らせ（第2報）

2026年2月3日に被害確認した当社グループにおけるランサムウェアによるシステム障害について、現在も外部のセキュリティ専門会社と連携のうえ、原因や侵入経路及び不正アクセスの有無等に関する調査・解析を継続しております。あわせて、関係当局への報告及び必要な対応を進めています。

お客様やお取引先様並びに関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

現時点で判明している事実と状況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現在の被害の状況

本事案の発生確認後、被害の拡大を防止するため、直ちに当社の対象機器を社内ネットワーク及びインターネットから遮断し、被害の拡大防止措置を講じた上で、システムの安全確認を継続して進めています。その後、安全が確認された機器等から、順次、稼働を再開しております。

現在までの調査等の状況から、一部の情報資産の漏洩が確認されております。また、その他情報についても漏洩の可能性を完全に否定できないと判断しております。ただし、その範囲及び内容等につきましては、特定に至っておらず不明な状況であるため、引き続き詳細な調査を継続しております。仮に、情報が漏洩していた場合には、本事案に関連して、当社または当社グループを装った不審なメールや電話等が発生する可能性がございます。当社または当社グループから、電話やメールのみで振込先の変更や金銭の支払いをお願いすることは一切ございません。そのような連絡を受けた場合には、十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

今後、情報漏洩等に関する調査の進捗や、新たにお知らせすべき事実が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、被害拡大防止及び関係機関との連携の観点から、ランサムウェアに関する詳細については情報開示を差し控えさせていただきます。

2. 現在の対応状況

上記に記載の通り、安全が確認された機器等から、順次、稼働を再開しております。

営業活動につきましては、発生当初より通常どおり継続しておりますが、現在もなお、安全確認及び調査を継続していることから、社内ネットワーク及びインターネットからの遮断を継続している機器も一部ございます。その影響により、一部の業務において、お客様ならびにお取引先様、関係者の皆様には、ご不便やご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。当社といたしましては、本事案を厳粛に受け止め、再発防止策の検討および情報セキュリティ体制の一層の強化に取り組んでまいります。

3. 業績への影響

当社主要業務においては影響なく、通常通り営業を継続しております。本件による当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後開示すべき事項が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。